

新潟宣言

2016 年は、持続可能な開発目標を 2030 年までに達成すべく、17 の目標を設定し、「誰一人取り残さない」社会を目指し、国際社会が新たな出発をした節目の年です。

この年に、防災世界子ども会議 NDYS は、これまでの流れを深め、広げていくためには、持続可能な開発の観点からの防災教育がさらに必要と考え、気候変動と私たちの住むまちの「防災・減災・復興」とテーマを設定し、NDYS2016 より、国連 SDGs 実現に向けた取り組みをスタートさせました。

アイアーンのネットワークを通して、世界 10 カ国・地域から参加の NDYS スクールの子どもたちは、半年間の国際協働学習の総仕上げとして、8 月 3 日 - 8 日、新潟市に集まり、この取り組みの最初の成果を、熱のこもったプレゼンテーションやポスターセッション(災害安全マップ展示など)で、各学校のそれぞれの取り組みを発表しました。

8 月 7 日、琴リニック会場で、今会議の成果をまとめ、次のとおり新潟宣言を採択しました。

(英文)

***“To kindle the passion within,
students need to take responsibility,
for the world is in their hands.”***

(和文)

この胸の内にある情熱の炎を燃やして、
私たち学生は責任を果たしていきます。
世界の未来は私たちにかかっているのですから



新潟宣言を採択し、それぞれの言葉で宣言文を発表しました。

トップをきって、日本代表で宣言する兵庫県・甲南高等学校の藤井君(右)

参加国・地域：アメリカ合衆国、イラン・イスラム共和国、インド、インドネシア共和国、オーストラリア連邦、コロンビア共和国、中華人民共和国、トルコ共和国、台湾、日本